

上信越高原国立公園
(谷川地域)

公園区域及び公園計画変更書

[再検討]

平成 27 年 3 月 27 日
環 境 省

目 次

第 1	公園区域の変更	1
1	変更理由	1
2	指定理由の変更内容	2
3	地域概要変更内容	4
4	変更する公園区域	16
第 2	公園計画の変更	21
1	変更理由	21
2	基本方針の変更内容	22
3	規制計画の変更内容	26
	(1) 保護規制計画及び関連事項	26
	ア 特別地域	26
	(ア) 第 1 種特別地域	28
	(イ) 第 2 種特別地域	30
	(ウ) 第 3 種特別地域	34
	イ 関連事項	36
	(ア) 普通地域	36
	ウ 面積内訳	49
4	事業計画の変更内容	51
	(1) 施設計画	51
	ア 利用施設計画	51
	(ア) 集団施設地区	51
	(イ) 単独施設	55
	(ウ) 道路	59
	a 車道	59
	b 歩道	61
	(エ) 運輸施設	65

第1 公園区域の変更

1 変更理由

上信越高原国立公園は、群馬県、長野県及び新潟県の三県の県境にそびえる 2,000m級の山々を中心とした公園である。昭和 24 年 9 月 7 日に、志賀高原地域、谷川・苗場地域、草津・万座・浅間地域（東部地域）が国立公園に指定され、その後、昭和 31 年 7 月 10 日に妙高・戸隠地域（西部地域）が追加指定され、現在に至っている。

谷川地域は、昭和 24 年の国立公園指定以来、公園区域の全般的な見直し（再検討）が行われていない。

このため、自然的及び社会的状況の変化を踏まえ、本地域の公園区域の再検討を行い、風致景観の保全と適正な利用を図るものである。

2 指定理由の変更内容

指定理由を次のとおり変更する。

(表 1：指定理由変更表)

変更後	変更前
上信越高原国立公園は、^{あさまやま}浅間山、^{あずまやさん}四阿山、^{しらねさん}白根山、^{いわすげやま}岩菅山等の火山群やそれらの山麓の火山性高原、谷川連峰等の構造山地に、巨大な溶岩台地である^{なえぼさん}苗場山の地域等を合わせ、我が国を代表する山岳及び高原景観地として、昭和 24 年 9 月 7 日に国立公園に指定された。その後、昭和 27 年 10 月 9 日に利用計画の決定、昭和 27 年 10 月 28 日の特別地域の指定、昭和 44 年 1 月 10 日に特別保護地区の指定が行われている。 本公園は「山と高原が彩るレクリエーションワールド」をテーマとして、成層火山やカルデラ、火山性高原等の火山活動による様々な地形と氷食による断崖・岩壁や^{じゃもんがん}蛇紋岩植生が見られる非火山性構造山地等の景観要素からなる風致景観を保全し、これらの風致景観を活かした多種多様な利用を適切に推進するものである。 本公園谷川地域については、昭和 24 年 9 月 7 日の指定後、区域及び公園計画にかかる全面的な見直しが行われず、現在に至っている。本地域は、非火山性の構造山地として群馬県と新潟県の県境に谷川連峰がそびえ、標高は 2,000m に届かない程度であるが、ヨーロッパのアルプス山脈を彷彿とさせる非対称山体の美しい山岳景観を呈し、多くの観光客や登山者に親しまれている。本	(※指定当初の公園計画書が現存しないため、以下の各項目は無し。指定は、昭和 24 年 9 月 7 日厚生省告示第 183 号)

変更後	変更前
地域は、地形的要因や利用導線等から大きく谷川エリアと赤谷エリアの2地域に分けることができる。 谷川エリアは湯桧曾川の流域に位置し、谷川岳をはじめとして一ノ倉岳、茂倉岳、武能岳、朝日岳、白毛門で形成される馬蹄形の盆地を有し、一ノ倉沢、マチガ沢、幽ノ沢等の氷河地形が見られるエリアである。高山帯から山地帯に位置するため、高山低木群落からブナ-ミズナラ群落まで多様な植生分布が見られ、雪田草原や風衝草原等には高山植物群落が見られる。山麓には湯桧曾温泉や谷川温泉があり、登山基地となっている。当該エリアは、平成 24 年 6 月に全国 3 番目、国立公園内では第 1 号のエコツーリズム推進法に基づく全体構想認定地域で、地元団体によって自然環境の保護と適正利用の推進が行われている。国道 291 号線のマイカー規制もその一環であり、利用シーズンには車両の乗り入れが禁止されるなどの対応が取られている。 赤谷エリアは赤谷川とムタコ沢の流域に位置し、万太郎山、仙ノ倉山、平標山、三国山の谷川連峰と稲包山、赤沢山、吾妻耶山に囲まれたエリアで、旧新治村の地域である。高山帯から山地帯に位置し、高山低木群落からブナ-ミズナラ群落まで多様な植生分布が見られ、雪田草原や風衝草原には高山植物群落が見られる。山麓には川古、法師温泉等古くからの温泉地がある。当該エリアは、平成 16 年から三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画（赤谷プロジェクト）が進められている地域で、土地所有者である国や自然保護団体、地域団体によって生物多様性に配慮した森林管	

変更後	変更前
理が行われている。 以上より、非火山性連峰を風景形式とし、それと一体的な非対象山体の美しい山岳景観を有する本区域を、我が国を代表する傑出した景観を有する地域として国立公園に指定するものである。	

3 地域の概要の変更内容

地域の概要を次のとおり変更する。

(表 2 : 地域概要変更表)

変更後	変更前
(1) 景観の特性 ア 地形、地質 谷川連峰は、2,000m に足りない中級山岳であるが、山容はまさしく高山的で、アルプス的な景観を呈している。これは、この地域が残雪に富み、各地に高山草原が発達していることなどに起因して	(1) 景観の特性 ア 地形、地質 (※項目無し)

変更後	変更前
いるが、最大の要因はやはり一ノ倉沢、マチガ沢、幽ノ沢、^{まないたぐら}俎 岳などに代表される急峻な岩壁と露岩地の存在がある。これら急峻な岩壁と露岩地は氷河の浸食や融雪水や雪崩によるもので、尾根と沢の比高は 200～400m にもなり、いくつかの傾斜変換点を携える等の特徴がある。また、谷川連峰の各所に雪食凹地形が存在し、谷川岳山頂付近から一ノ倉岳、^{しげくらだけ}茂倉岳、^{ぶのうだけ}武能岳を経て^{よもぎとうげ}蓬 峠 辺りまでと、朝日岳周辺に見られる。急峻で発達した谷地形には複数の滝があり、湯桧曽川上流部や赤谷川上流部に点在している。 谷川地域は、深成岩類の石英閃緑岩～閃緑岩類が広く分布し、これらは古期岩類および新第三系を貫き、それらに接触変成作用を与えている。古期岩類には、蛇紋岩や花崗岩類、輝緑岩、結晶片岩等の岩石が含まれる。新第三系は主に火山碎屑岩から成るもので、当地域南方の水上市区付近のものに連続すると考えられている。蛇紋岩は超塩基性岩類に属し、その化学的特性から周囲の植生とは異なる蛇紋岩植生が発達している。蛇紋岩は谷川岳山頂の他、天神尾根から^{てんじんたいら}天神 平、茂倉岳、朝日岳にかけて見られる。結晶片岩は谷川岳山頂付近のみで確認されるが、蛇紋岩に取り囲まれており、蛇紋岩のゼノリス状結晶片岩として特筆される。 イ 植生・野生生物 谷川地域は谷川岳を中心とし、北の朝日岳から西の平標山、南の赤沢山周辺までのきわめて広い範囲と、その東南の谷川温泉・湯桧曽温泉、南の法師温泉・川古温泉の温泉地が含まれている。この地域の植生分布の特徴は次のとおりである。	イ 植生・野生生物 (※項目無し)

変更後	変更前
①自然植生の占める割合はきわめて高く、また垂直植生帯の形成も良好である。すなわち海拔 1,600m 前後を境としてそれより下部にはブナ林が広がり、上部にはササ-ダケカンバ群落やササ自然草原などの亜高山帯の群落が分布している。そしてこれらの上部と下部をつなぐ様に、ミヤマナラ低木林が不連続な帯状に分布している。海拔 1,900m 以上にはハイマツなど高山低木群落や、雪田草原、高山ハイデおよび風衝草原などの高山植生が分布している。 ②日本海側の気候の影響により多雪であることから偽高山帯の植生が発達し、亜高山性の針葉樹林の生息域が少なく、山岳の西向斜面上部に小面積に認められるのみである。これは西の苗場山周辺において針葉樹林の発達が良いのに比べると対照的である。わが国の東北部の亜高山帯では針葉樹林の分布が欠けることが一般的であるが、苗場山との対比で見ると、この地域が両方の性質の山岳の中間点といえる。 ③谷川温泉・湯桧曽温泉と法師温泉・川古温泉一帯は自然植生の占める割合がきわめて小さく、スギ・ヒノキの人工林とミズナラ二次林の占める割合が大きい。 この地域で注目すべき植物群落としては、谷川岳の蛇紋岩植生、朝日岳の雪田植生が挙げられる。蛇紋岩植生では、ホソバヒナウスユキソウ、ジョウシュウアズマギク、ジョウシュウオニアザミ、クモマニガナ、イブキボウフウ、ナエバキスミレ、ユキワリソウ、シブツアサギクなどが見られる。雪田植生では、イワイチョウ、タテヤマリンンドウ、コイワカガミ、ショウジョ	

変更後	変更前
ウバカマ、キンコウカ、ヌマガヤなどが見られる。 変化に富んだ植生と地形の複雑さによって、多くの野生動物が生息している。特に一ノ倉沢岩場はイワツバメの繁殖地となっており、ハリオアマツバメやアマツバメも見られる。谷川連峰の岩場は、イヌワシの繁殖地にもなっている。 哺乳類は、ツキノワグマやニホンカモシカ等の大型哺乳類の他、ヤマネ、ホンシュウトガリネズミ、ニホンカワネズミ等の中小型哺乳類も多数生息している。また、高山蝶も多数生息しており、ミヤマシロチョウ、ミヤマモンキチョウ、ベニヒカゲ、ヒメギフチョウ等が稜線部の雪田植生等で観察することができる。 ウ 自然現象 谷川地域は群馬・新潟の県境の山地で、そのほとんどが海拔高度 1,000m 以上である。この山地は、関東地方と中部地方(上越方面)の境界となる分水嶺となるばかりでなく、気候的には、本州の太平洋側と日本海側の著しく異なる気候地域の境界にもあたっている。 年間の平均気温は約 8 ～10℃であり、年間降水量は約 1,800 ～2,000mm である。谷川連峰のそびえる三国山脈の北側では典型的な日本海側気候地帯になるため、三国山脈では降雪量が多く、年間降水量が 3,000mm を超えるところも少なくない。 エ 文化景観	ウ 自然現象 (※項目無し) エ 文化景観

変更後	変更前																					
（３） 社会経済背景 ア 土地所有別 谷川地域の公園面積 14, 908ha のうち、国有地 14, 399ha、公有地 51ha、私有地 458ha であり、国有地の公園全体に占める割合が大きい。 イ 人口及び産業 本公園区域に関係する市町村は群馬県利根郡みなかみ町であり、人口及び世帯数は次の通りで、近年は減少傾向にある。公園区域内の居住者は少数である。 <table><tr><td></td><td>世帯数（戸）</td><td>人口（人）</td></tr><tr><td>平成 2 年</td><td>8, 192</td><td>26, 540</td></tr><tr><td>平成 7 年</td><td>8, 441</td><td>26, 252</td></tr><tr><td>平成 12 年</td><td>8, 391</td><td>25, 079</td></tr><tr><td>平成 17 年</td><td>8, 021</td><td>23, 310</td></tr><tr><td>平成 22 年</td><td>7, 864</td><td>21, 345</td></tr><tr><td>平成 26 年 6 月 1 日</td><td>8, 189</td><td>20, 878</td></tr></table> ※平成 22 年までは国勢調査結果。 ※平成 26 年は住民基本台帳に基づくものであり、国勢調査結果とは異なる。 ※平成 17 年につきよのまち月夜野町、にいほるむら水上町、新治村が合併し、みなかみ町となる。		世帯数（戸）	人口（人）	平成 2 年	8, 192	26, 540	平成 7 年	8, 441	26, 252	平成 12 年	8, 391	25, 079	平成 17 年	8, 021	23, 310	平成 22 年	7, 864	21, 345	平成 26 年 6 月 1 日	8, 189	20, 878	（３）社会経済背景 ア 土地所有別 （※項目無し） （※国有地 14, 399 ha、公有地 51 ha、私有地 564 ha） イ 人口及び産業 （※項目無し）
	世帯数（戸）	人口（人）																				
平成 2 年	8, 192	26, 540																				
平成 7 年	8, 441	26, 252																				
平成 12 年	8, 391	25, 079																				
平成 17 年	8, 021	23, 310																				
平成 22 年	7, 864	21, 345																				
平成 26 年 6 月 1 日	8, 189	20, 878																				

変更後								変更前							
人口の減少に伴い産業就業者は年々減少し、第一次産業は激減している反面、第三次産業は温泉やアウトドアを中心とした観光業が主要産業であり、就業者のおよそ7割が従事しており、国立公園との関わりも深い。															
	第1次産業		第2次産業		第3次産業		就業者								
	人口 (人)	構成 比 (%)	人口 (人)	構成 比 (%)	人口 (人)	構成 比 (%)	総数 (人)								
H12 年	1, 793	12. 6	3, 381	23. 7	9, 072	63. 7	14, 262								
H17 年	1, 466	12. 2	2, 545	21. 2	8, 008	66. 6	12, 019								
H22 年	1, 062	10. 0	2, 207	20. 9	7, 301	69. 1	10, 570								
※国勢調査結果（群馬県みなかみ町）															
エコツーリズムの推進を積極的に行っており、エコツアーの開発が盛んに行われている。谷川岳ロープウェイの山頂駅周辺の天神平では、花をめぐる散策ツアーが行われ、星空観察会等も実施されている。土合口から一ノ倉沢までの区間では渋滞等による排ガス対策としてマイカー規制を実施しているが、当該路線を活用して登録インタープリターによるガイドウォーク等も実施しており、その他外来生物法に基づく特定外来生物オオハンゴンソウの防除実施ツアー等、環境保全活動と観光ツアーを組み合わせたプログラム開発が行われている。また、アウトドアではラフティングやキャニオニングが盛んで、湯桧曾川及びその支流において多くの観光事業者が事															

変更後				変更前
業を展開している。 ウ 権利権限関係 （ア）保安林 （国有林）				ウ 権利権限関係 （※項目無し）
種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日	
水源かん養	群馬県利根郡みなかみ町内	12,447	昭 36. 5. 23	
			昭 37. 6. 27	
			昭 46. 3. 30	
			昭 54. 7. 25	
			昭 55. 4. 4	
			昭 58. 4. 30	
			昭 60. 8. 17	
土砂流出防備	群馬県利根郡みなかみ町内	1,223	平 2. 8. 21	
			平 11. 10. 27	
土砂流出防備	群馬県利根郡みなかみ町内	1,223	昭 36. 5. 23	
			昭 37. 6. 27	
			昭 58. 4. 30	
干害防備	群馬県利根郡みなかみ町内	33	平 11. 10. 27	
なだれ防止	群馬県利根郡みなかみ町内	207	昭 36. 5. 23	
			昭 58. 4. 30	

変更後				変更前
保健	群馬県利根郡みなかみ町内	3	昭 58. 4. 30 昭 58. 10. 21	
(民有林)				
種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日	
土砂流出防備	群馬県利根郡みなかみ町内	6	明 31. 1. 1 明 44. 2. 13 昭 53. 3. 28	
土砂崩壊防備	群馬県利根郡みなかみ町内	6	昭 32. 4. 19	
(イ) 鳥獣保護区 (県指定)				
種類	位置	重複面積 (ha)	当初指定 年月日	
仙ノ倉山	群馬県利根郡みなかみ町内	2,664	昭 55. 4. 1	
谷川岳	群馬県利根郡みなかみ町内	4,039	昭 59. 11. 1	
法師	群馬県利根郡みなかみ町内	1,851	昭 59. 11. 1	

変更後				変更前			
(ウ) 史跡名勝天然記念物							
区分	名称	位置	指定年月日				
国指定特別天然記念物	カモシカ	地域を定めず指定 (群馬県)	昭 30. 2. 15				
国指定天然記念物	ヤマネ	地域を定めず指定 (群馬県)	昭 50. 6. 26				
	日本犬 (秋田犬)	地域を定めず指定 (群馬県)	昭 6. 7. 31				
	日本犬 (柴犬)	地域を定めず指定 (群馬県)	昭 11. 12. 16				
	日本犬 (紀州犬)	地域を定めず指定 (群馬県)	昭 9. 5. 1				
	日本犬 (四国犬)	地域を定めず指定 (群馬県)	昭 12. 6. 15				
	矮鶏 (チャボ)	地域を定めず指定 (群馬県)	昭 16. 8. 1				

変更後				変更前			
	イヌワシ	地域を定 めず指定 (群馬県)	昭 40. 5. 12				
	ミヤコタナゴ	地域を定 めず指定 (群馬県)	昭 49. 6. 25				
	アユモドキ	地域を定 めず指定 (群馬県)	昭 52. 7. 2				
国登録文化財	法師温泉 ^{ちやうじゆかん} 長寿館	群馬県利 根郡みな かみ町大 字永井 650	平 18. 8. 24				
県指定天然記 念物	ミヤマモンキチョ ウ	地域を定 めず指定 (群馬県)	昭 52. 4. 1				
	ベニヒカゲ	地域を定 めず指定 (群馬県)	昭 52. 4. 1				
	オオイチモンジ	地域を定 めず指定 (群馬県)	昭 52. 4. 1				
	ミヤマシロチョウ	地域を定	昭 52. 4. 1				

変更後				変更前	
		めず指定 (群馬県)			
	ヒメギフチョウ	地域を定 めず指定 (群馬県)	昭 61. 3. 7		
	トウホクサンショ ウウオ	地域を定 めず指定 (群馬県)	平 19. 3. 27		
	ヒダサンショウウ オ	地域を定 めず指定 (群馬県)	平 19. 3. 27		
	ユビソヤナギ群落	湯桧曽川 流域	平 20. 3. 27		

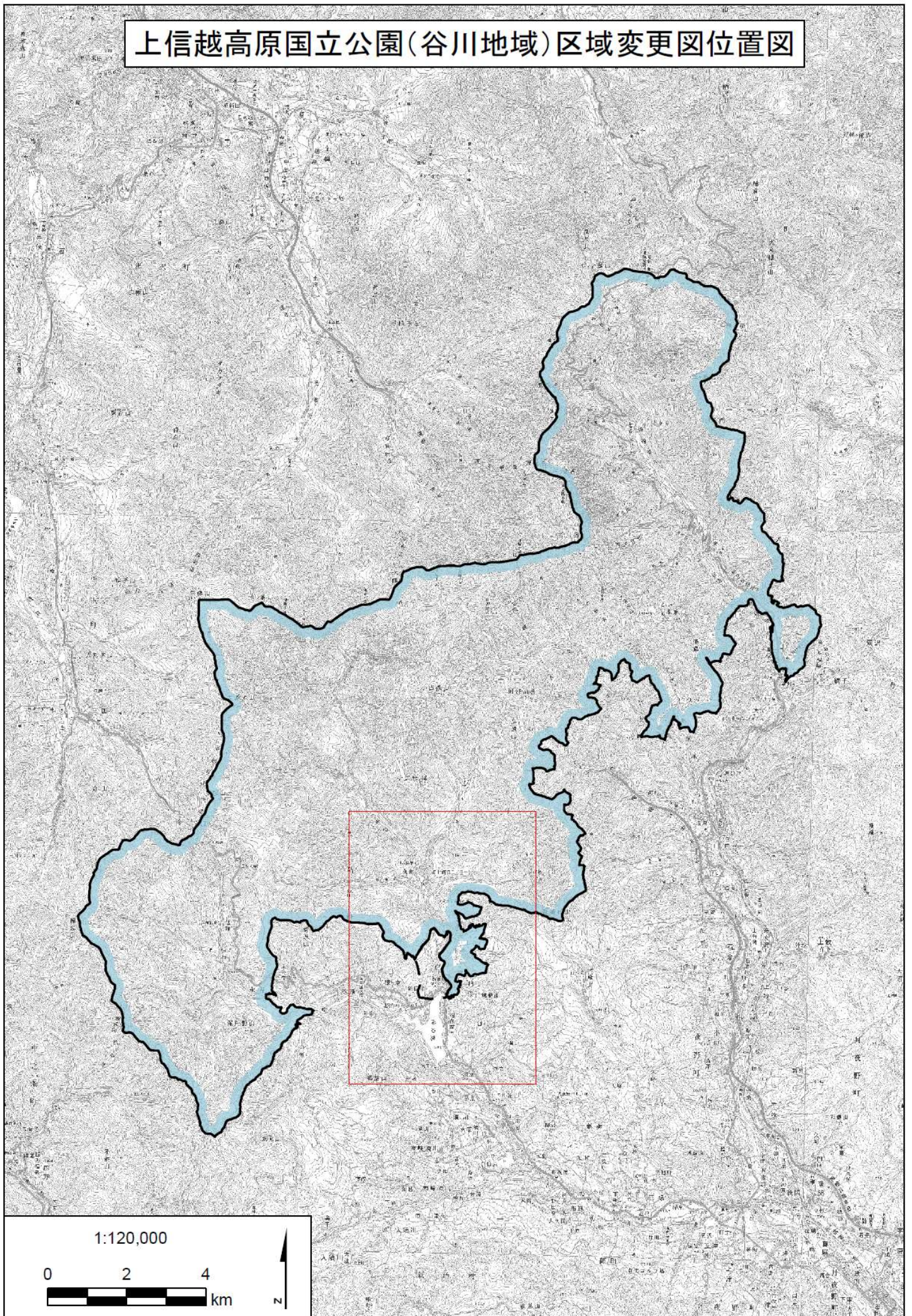
4 変更する公園区域

上信越高原国立公園の区域の一部を次のとおり変更する。

(表 3：公園区域変更表)

番号	区分	変 更 部 分 の 区 域	変 更 理 由	面 積 (ha)
1	削除	群馬県利根郡みなかみ町 大字猿ヶ京温泉の一部	宅地開発等の開発が著しい場所であり、廃屋も点在するなど国立公園としての資質が失われているため、区域から削除するもの。	△106 国0 公0 私△106
			変 更 部 分 面 積 計	△106 国0 公0 私△106
			変 更 前 公 園 面 積	15,014 国14,399 公51 私564
			変 更 後 公 園 面 積	14,908 国14,399 公51 私458

上信越高原国立公園(谷川地域)区域変更図位置図



上信越高原国立公園(谷川地域)区域変更図

